

開催
決定!!

開館20周年記念特別展「井上ひさしの劇列車」

オープニングトークイベント

井上演劇と私

2012年に「十一ぴきのネコ」、そして今春「イーハトーボの劇列車」を演出した長塚圭史さんをお迎えし、井上ひさしの戯曲の魅力、心ひかれる作品などについてお話しいたします。



日時

4月27日(土) 13:30~

会場 仙台文学館講習室

定員 100名(先着)

申し込み 4月5日(金) 10:00から電話・ファクスで受付
(ファクスの場合はイベント名、氏名、電話番号を明記)。
定員になり次第、受付終了します。

長塚 圭史 (ながつか けいし)

1975年、東京都出身。96年、演劇プロデュースユニット「阿佐ヶ谷スパイダース」を旗揚げ、作・演出・出演の3役を担い、2017年、劇団化。08年、文化庁新進芸術家海外研修制度にて1年間ロンドンに留学。帰国後の11年、ソロプロジェクト「葛河思潮社」を始動、三好十郎作『浮標』『冒した者』やハロルド・ピンター作『背信』を上演。近年の舞台作品に『マクベス』『冒した者』『鼯』『かがみのかなたはたなかのなかに』『王将』『プレイヤー』『作者を探す6人の登場人物』『ハングマン』『MAKOTO』『セールスマンの死』など。読売演劇大賞優秀演出家賞、読売演劇大賞優秀作品賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞歴多数。井上ひさしの戯曲では、これまでに『十一ぴきのネコ』(2012年)、『イーハトーボの劇列車』(2019年)を演出。



聞き手:
山口宏子 (やまぐち ひろこ)
(朝日新聞記者)

開館20周年記念特別展

井上ひさしの劇列車

「劇列車」をイメージした展示空間のなかで、初代館長・井上ひさしが手がけた評伝劇の世界を紹介します。

I期/2019年4月27日(土)~6月30日(日)

II期/2019年12月14日(土)~2020年4月5日(日)

会場/仙台文学館
企画展示室



(公財)仙台市市民文化事業団
仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL.022-271-3020
FAX.022-271-3044
http://www.sendai-lit.jp

交通のご案内

バス利用の場合

〈宮城交通バス〉
仙台駅西口バスプール2~4、6番乗り場
仙台北・泉地区方面行(急行・北山トンネル経由を除く)
(市営バス)
仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車

地下鉄利用の場合

南北線「台原駅」下車、徒歩約25分
(台原森林公園内あかまつの道経由)

駐車場40台(無料)

台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



※このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます。